

第47回日本生物物理学会年会・市民講演会

# 未来を開く生命科学研究 ～神経・記憶・長寿研究最前線～

日時 : 11月3日(火) 13:30～16:30  
場所 : 徳島文理大学徳島キャンパス むらさきホール  
(徳島市山城町西浜傍示180)

## プログラム

司会 : 佐藤 高則 (徳島大学総合科学部)

### 講演

13:40～14:20

徳島文理大学学長・香川薬学部 教授 桐野 豊

「生命科学と社会」

14:30～15:20

東京大学大学院薬学系研究科 准教授 池谷 裕二

「記憶のしくみー アセチルコリンと薬の不思議な関係」

15:30～16:20

徳島文理大学香川薬学部 教授 三井 洋司

「命の継続性を考える：寿命の起源と再生力から」

現代の、そして未来を開く生命科学研究分野として注目される「神経・記憶・長寿」に関する講演会を企画しました。当該分野の最前線でご活躍される3人の研究者にご講演していただきます。一人目は徳島文理大学香川薬学部の桐野豊教授に「生命科学と社会」と題して、二人目は東京大学大学院薬学研究科の池谷裕二准教授に「記憶のしくみーアセチルコリンと薬の不思議な関係」と題して、三人目は徳島文理大学香川薬学部の三井洋司教授に「命の継続性を考える：寿命の起源と再生力から」と題して、高校生を含めた一般の方に理解していただけるように、それぞれわかりやすく解説していただきます。多くの方々のご参加をお待ちしております。

入場無料 事前申し込み不要 お気軽にお越しください。

オーガナイザー：生物物理学会年会実行委員会

(生物物理学会中四国支部会員)

(代表：桐野豊(徳島文理大学香川薬学部))

後援：徳島新聞社、徳島県教育委員会、徳島文理大学、徳島大学、  
徳島大学総合科学部地域交流支援室

# 講演概要

13:40-14:20

「生命科学と社会」 桐野 豊

(徳島文理大学学長、徳島文理大学香川薬学部 教授、  
日本生物物理学会中四国支部長)

生命科学の知識は、我々が自分の健康を自分で守るために必須であり、また、遺伝子診断、臓器移植、再生医療等の先端医療のあり方を深く考え、議論し、決定していくためにも必須です。このように、生命科学の知識は、個人にとっても社会にとっても必須であり、現代人に必須の教養となりました。生命科学は、我々人類の過去、現在、未来（我々はどこから来たのか、我々は何であるのか、我々はどこへ行くのか）を指し示す羅針盤とも言えるでしょう。

14:30-15:20

「記憶のしくみー アセチルコリンと薬の不思議な関係」

池谷 裕二 (東京大学大学院薬学系研究科 准教授)

薬はいつどこでどんなふうに生まれたのでしょうか。薬がどんなふうに活用され、どんなふうに人の役に立ってきたのかを、アセチルコリンを例として概観してみましょう。記憶との関係についても解説します。

15:30-16:20

「命の継続性を考える：寿命の起源と再生力から」

三井 洋司 (徳島文理大学香川薬学部 教授)

無限寿命だった生物は性の進化に伴って、体が寿命を持つように成りました。細胞の寿命はテロメアの短縮に起因しますが、その再生力の衰えと老化は、がん化を防ぐ役割を果たすようです。先端科学の進展のもと各個人の体細胞の再生力を完全に復活させ、移植も可能になるでしょう。今や新しい生命観を持ち、自分の生き方、寿命を選択する時代に来ています。これらを研究例と進化の歴史を踏まえて、動画を交えながら紹介します。

**入場無料 事前申し込み不要 お気軽にお越しください。**



徳島文理大学徳島キャンパス  
むらさきホール (5号館音楽学部棟)

徳島駅から徳島文理大学へのアクセス

徳島市バスは、3番乗り場から9または22の「山城町行」で、「文理大学前」あるいは「文理大学正門前」下車、または23の「アスティとくしま行」で終点下車。